

2015年秋の「食べる・飲む・まなぶ 牛乳学習会」の取り組み報告

◆「牛乳学習会」の取り組みに至る経過

- ・私たちが連合加入した2008年以降、生活クラブ全体の牛乳の利用量は毎年5%近く低下し続けています。
- ・このままでは数年で現在の牛乳の供給事業が行き詰まり、現在の品質・価格でのお届けが困難になる恐れがでてきました。
- ・この状況を打開するため10月～新たに「ノンホモ牛乳」「低脂肪牛乳」を開発し牛乳事業の低迷状況を打開することになりました。

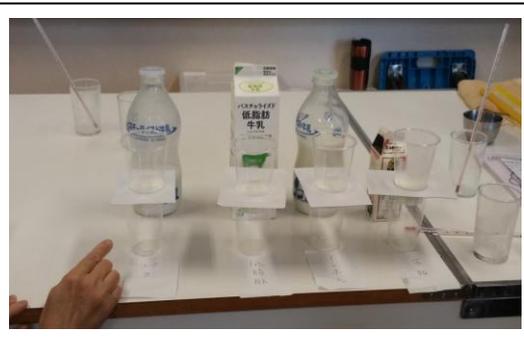
◆全体の取り組みは以下のように進みました。

期日	区分	参加者
9月27日	牛乳消費地交流会	地区委員 10名 理事 5名
10月6日～	新品目お試し企画	ノンホモ、低脂肪を10円引
10月9日	奈良北地区学習会	組合員4名 員外2名
10月2日	生駒郡郡山学習会	組合員4名 地区委員2名
10月21日	生駒地区学習会	組合員5名 理事1名
合計	3地区	組合員15名及び理事会

*各会場のコメントは開催報告書より転載しています。

9/27「牛乳消費地交流会」

(地区委員 10名 理事 5名)
 ・5つの地区の地区委員10名の参加で開催されました。学習会の講師には安曇野工場の内山技師より産地の状況の説明、およびパス殺菌の特長を知る「レンネットテスト」などについて分りやすく指導いただきました。
 ・委員のみなさんはレンネットテストについて興味津津で学習された様子でした。この成果を地区の学習会に生かし、少しでも飲用牛乳の利用に向けて取り組むことを確認し終了しました。



10/2 「奈良南地区 牛乳学習会」

(組合員4名、理事2名)
◆参加者の声から (要約)
 「低脂肪牛乳」⇒「カルシウム補給の面から牛乳を利用したいが、コレステロール値の点で利用を控えていた。今回、低脂肪乳を試飲してみても飲みやすく、これから注文してみようと思った」
 ⇒「一般のこれまでの低脂肪牛乳は純粋な生乳ではないと思っていたので躊躇していた。今回の学習会の説明では生乳以外の添加はなく、単に脂肪を一部取り除いただけと知り、低脂肪牛乳に変えたいと思った。」



10/2 「生駒郡・大和郡山市地区 牛乳学習会」

(組合員4名 地区委員2名)
◆参加者の声から
 「ノンホモ牛乳⇒甘さが強い、濃さ、甘さを感じた」
 「低脂肪牛乳⇒水っぽいと思っていたが実際に飲んだら美味しかった」
 「食パン⇒何もつけずに美味しい。」
 「牛乳の説明がとてもわかりやすくてよかった」
 「他の組合員の話が聞けて良かった」
◆地区委員の声から
 ・少人数の学習会だったが、ベテラン主婦から子育て中のママまで幅広い参加があり話も弾んだ」

10/9 「奈良北地区 牛乳学習会」

(組合員4名 員外2名)
◆レンネットテストの成果について
 ⇒このテストで生活クラブの牛乳が殺菌工程の際、熱の影響を受けにくくカルシウムの状態があまり変わっていないことを目で見て感じてもらえたのではないかと思います。
◆参加者の声から
 「学習会に参加することで消費材のことがわかり良かった」「本来の牛乳についてよくわかった」
 「安全と美味しさにこだわっておられるのがよくわかった。(員外)」

10/21 生駒市地区委員会 牛乳学習会

(組合員5名 理事1名)
◆参加者の声から
 「ノンホモ牛乳⇒濃厚で美味しかった」 「低脂肪牛乳⇒薄い感じなど全くなく美味しい」「普通の低脂肪牛乳は味気ない感じだが全然違った」「初めて飲んだが予想以上に美味しかった」「私(親)用に良いかもしれないと感じた」
 「バター⇒すごく美味しかった。市販のものと色も風味も違ってびっくりした」
 「取り組みについて⇒まじめに前向きに活動されている様子がよくわかりました」
◆参加した理事から
 ・参加者のうちで1名の低脂肪牛乳の新規登録がありとてもうれしく思いました